

## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 協和キリン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4151 URL <https://www.kyowakirin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 昌志  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 吉田 聡子 TEL 03-5205-7206  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月30日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	234,004	3.8	50,693	10.8	44,183	32.1	37,489	△33.4	37,489	△33.4
2019年12月期第3四半期	225,457	14.0	45,752	15.8	33,450	△41.2	56,318	18.8	56,318	18.8

四半期包括利益合計額 2020年12月期第3四半期 30,429百万円 (△44.1%) 2019年12月期第3四半期 54,461百万円 (17.9%)

(注) コア営業利益は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」及び「研究開発費」を控除し、「持分法による投資損益」を加えて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	69.80	69.75
2019年12月期第3四半期	104.48	104.39

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	781,160	685,171	685,171	87.7
2019年12月期	784,453	678,250	678,250	86.5

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2020年12月期	—	22.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	313,000	2.3	60,000	1.1	53,000	19.1	44,000	△34.4	44,000	△34.4	円 銭 81.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	540,000,000株	2019年12月期	540,000,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	2,828,366株	2019年12月期	3,053,335株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	537,089,478株	2019年12月期3Q	539,020,972株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	4
(4) 研究開発活動 .....	5
(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(セグメント情報) .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 業績の概況

当社グループは、IFRS適用にあたり、事業活動による経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を採用しております。当該「コア営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」及び「研究開発費」を控除し、「持分法による投資損益」を加えて算出しております。

(単位：億円)

	2020年12月期 第3四半期	2019年12月期 第3四半期	増減	前年同期比 %
売上収益	2,340	2,255	85	3.8%
コア営業利益	507	458	49	10.8%
税引前四半期利益	442	335	107	32.1%
継続事業からの四半期利益	375	269	106	39.3%
非継続事業からの四半期利益	—	294	△294	—%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	375	563	△188	△33.4%

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から9月30日までの9か月間）の売上収益は2,340億円（前年同期比3.8%増）、コア営業利益は507億円（同10.8%増）となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は375億円（同33.4%減）となりました。

- ◎ 売上収益は、日本において薬価基準引下げや腎性貧血治療剤ネスプのオーソライズドジェネリックであるダルベポエチン アルファ注シリンジ「KKF」への切り替え等による減収影響があったものの、北米及びEMEAにおいてグローバル戦略品が順調に伸長し、アジアにおいても中国を中心に好調に推移した結果、増収となりました。コア営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの、海外売上収益の増収による売上総利益の増加により、増益となりました。
- ◎ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は、コア営業利益の増加に加え、事業構造改善費用や減損損失が減少したものの、非継続事業からの四半期利益がなくなったことから減益となりました。

## ② 地域統括会社別の売上収益

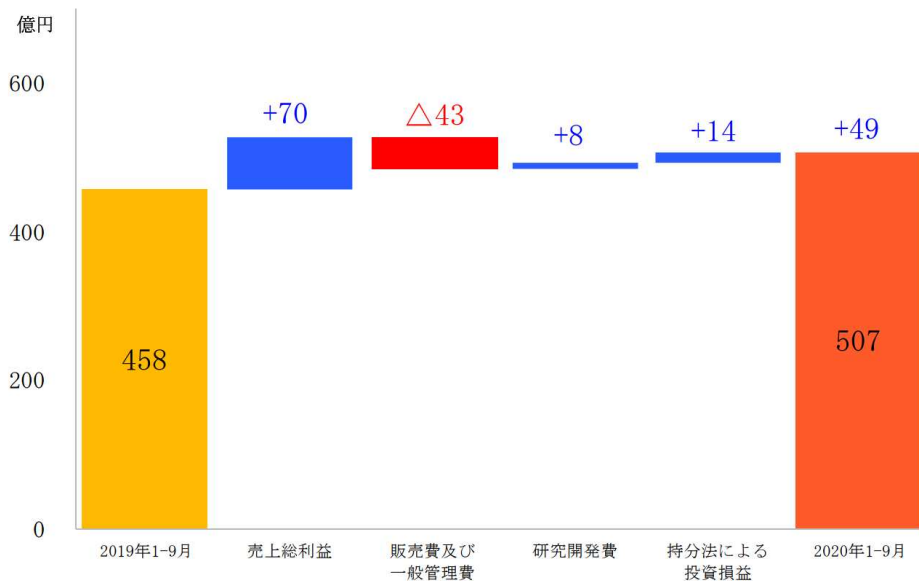
(単位：億円)

	2020年12月期 第3四半期	2019年12月期 第3四半期	増減
日本	1,195	1,320	△125
北米	437	265	172
EMEA	363	321	41
アジア／オセアニア	191	173	18
その他	154	175	△20
売上収益合計	2,340	2,255	85

- (注) 1. One Kyowa Kirin 体制（日本・北米・EMEA・アジア／オセアニアの4つの「地域」とグローバル・スペシャリティファーマとして必要な「機能」を軸とするグローバルマネジメント体制）における地域統括会社（連結）の製商品の売上収益を基礎として区分しております。
2. EMEAは、ヨーロッパ、中東及びアフリカ等であります。
3. その他は、技術収入及び受託製造等であります。

- ◎ 日本の売上収益は、2019年10月及び2020年4月に実施された薬価基準引下げの影響があったことに加え、特許満了となった腎性貧血治療剤ネスプのオーソライズドジェネリックであるダルベポエチン アルファ注シリンジ「KKF」への切り替え影響が大きく、新製品群が伸長したものの前年同期に比べ減少しました。
  - ・ダルベポエチン アルファ注シリンジ「KKF」は、腎性貧血治療剤ネスプからの切り替えが速やかに進みました。
  - ・8月に経口の腎性貧血治療剤ダブロックを発売し、順調に市場浸透し始めております。
  - ・抗アレルギー点眼剤パタノール、抗アレルギー剤アレロックは、花粉飛散量の減少に加え、新型コロナウイルス感染症による受診抑制等の影響を受け、売上収益が減少しました。
  - ・二次性副甲状腺機能亢進症を適応症とするオルケディアは、売上収益を伸ばしました。一方で、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤レグパラは、オルケディアへの切り替えが進み、加えて競合品の影響もあり売上収益が減少しました。
  - ・慢性特発性血小板減少性紫斑病治療剤ロミプレートは、既存治療で効果不十分な再生不良性貧血を適応症とする承認を2019年6月に取得し、売上収益が増加しました。
  - ・発熱性好中球減少症発症抑制剤ジーラスタ、抗悪性腫瘍剤リツキシマブBS「KHK」は、堅調に売上収益を伸ばしました。
  - ・FGF23関連疾患治療剤クリスピータ及びパーキンソン病治療剤ハルロピは、2019年12月に発売し、順調に市場浸透しております。
- ◎ 北米の売上収益は、グローバル戦略品が順調に伸長し、前年同期を上回りました。
  - ・X染色体連鎖性低リン血症治療剤Crysvita（日本製品名：クリスピータ）は、2018年の発売以来順調に売上収益を伸ばしております。
  - ・抗悪性腫瘍剤Poteligeo（日本製品名：ポテリジオ）は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、前年同期並みの売上収益となりました。
  - ・パーキンソン病治療剤Nourianz（日本製品名：ノウリアスト）は、2019年10月に発売し、順調に市場浸透しております。
- ◎ EMEAの売上収益は、グローバル戦略品が順調に伸長し、前年同期を上回りました。
  - ・X染色体連鎖性低リン血症治療剤Crysvita（日本製品名：クリスピータ）が、2018年の発売以来、上市国を拡大しながら順調に売上収益を伸ばしております。
  - ・6月にドイツにおいて抗悪性腫瘍剤Poteligeo（日本製品名：ポテリジオ）の販売を開始し、順調に市場浸透し始めております。
- ◎ アジア/オセアニアの売上収益は、中国を中心に好調に推移し、前年同期を上回りました。
  - ・二次性副甲状腺機能亢進症治療剤Regpara（日本製品名：レグパラ）は、中国での市場拡大により前年同期を上回りました。
- ◎ その他の売上収益は、前年同期を下回りました。
  - ・アストラゼネカ社からのベンラリズムブに関する売上ロイヤルティは増加しましたが、マイルストーン収入等の減少により、前年同期を下回りました。

③ コア営業利益



- ◎ コア営業利益は、日本の売上収益の減少や、グローバル戦略品の販売に係る販売費及び一般管理費の増加があったものの、グローバル戦略品を中心とした海外の売上収益の増加により、前年同期に比べ増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：億円)

	2020年12月期 第3四半期	前連結会計年度末	増減
資産	7,812	7,845	△33
非流動資産	3,535	3,358	177
流動資産	4,277	4,486	△210
負債	960	1,062	△102
資本	6,852	6,782	69
親会社所有者帰属持分比率 (%)	87.7%	86.5%	1.3%

- ◎ 資産は、前連結会計年度末に比べ33億円減少し、7,812億円となりました。
- ・非流動資産は、開発品導入による無形資産や繰延税金資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ177億円増加し、3,535億円となりました。
  - ・流動資産は、親会社に対する貸付金のうち、現金及び現金同等物の範囲に含まれる貸付期間が3か月以内のものを2,480億円増加させた影響により、現金及び現金同等物が大きく増加しましたが、無形資産の取得や法人所得税及び配当金の支払いによる手元資金（現金及び現金同等物並びに親会社に対する貸付金の合計額）の減少等により、前連結会計年度末に比べ210億円減少し、4,277億円となりました。
- ◎ 負債は、未払法人所得税や営業債務及びその他の債務の減少等により、前連結会計年度末に比べ102億円減少し、960億円となりました。
- ◎ 資本は、配当金の支払いに加えて、為替影響による在外営業活動体の換算差額の減少等がありましたが、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加等により、前連結会計年度末に比べ69億円増加し、6,852億円となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比べて1.3ポイント上昇し、87.7%となりました。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

(単位：億円)

	2020年12月期 第3四半期	2019年12月期 第3四半期	増減	前年同期比 %
営業活動によるキャッシュ・フロー	319	386	△67	△17.5%
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,587	41	2,545	6,162.4%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△259	△466	207	△44.4%
現金及び現金同等物の期首残高	208	159	49	30.9%
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,850	121	2,729	2,264.2%

- ◎ 当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、親会社に対する貸付金のうち、現金及び現金同等物に含まれる貸付期間が3か月以内のものを2,480億円増加させた影響等により、前連結会計年度末の208億円に比べ2,642億円増加し、2,850億円となりました。
- 当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。
- ◎ 営業活動によるキャッシュ・フローは、319億円の収入（前年同期比17.5%減）となりました。主な収入要因は、税引前四半期利益442億円、減価償却費及び償却費138億円等であります。一方、主な支出要因は、法人所得税の支払額266億円等であります。
- ◎ 投資活動によるキャッシュ・フローは、2,587億円の収入（前年同期比6,162.4%増）となりました。主な収入要因は、親会社に対する貸付金の純減少額2,857億円等であります。一方、主な支出要因は、無形資産の取得による支出197億円、有形固定資産の取得による支出78億円等であります。
- ◎ 財務活動によるキャッシュ・フローは、259億円の支出（前年同期比44.4%減）となりました。主な支出要因は、配当金の支払額236億円等であります。

(4) 研究開発活動

当社グループでは、抗体技術を核にした最先端のバイオテクノロジーを駆使し、腎、がん、免疫・アレルギー、中枢神経の各カテゴリーを研究開発の中心に据え、資源を効率的に投入することにより、新たな医療価値の創造と創薬の更なるスピードアップを目指しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費の総額は370億円であり、主な後期開発品の進捗は、次のとおりであります（◆は当第3四半期連結会計期間の進捗）。

腎カテゴリー

KRN321（日本製品名：ネスブ）

- ・6月に中国において血液透析施行中の腎性貧血を適応症として承認されました。

がんカテゴリー

KRN125（日本製品名：ジーラスタ）

- ・2月に日本においてがん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制を適応症とした自動投与デバイス開発に関する第I相臨床試験を開始しました。

ME-401（一般名：Zandelisib）

- ・米国、欧州、韓国、豪州等において濾胞性リンパ腫を適応症とした第II相試験を実施中であり、4月にグローバルライセンス契約をMEI Pharma社と締結。

KW-0761（日本製品名：ポテリジオ、欧米製品名：Poteligeo）

- ◆米国、欧州等において成人T細胞白血病/リンパ腫を適応症とした第II相試験を実施いたしましたが、ポートフォリオマネジメントの観点から以降の開発を中止しました。

免疫・アレルギーカテゴリー

KHK4827（日本製品名：ルミセフ）

- ・6月に中国において尋常性乾癬を適応症として承認されました。

中枢神経カテゴリー

KW-6002（日本製品名：ノウリアスト、米国製品名：Nourianz）






- ・1月に欧州においてウェアリングオフ現象を有する成人パーキンソン病患者におけるレボドパ含有製剤との併用療法を適応症とした承認申請が受理されました(2019年11月申請)。

その他カテゴリー

KRN23（日本製品名：クリスビータ、欧米製品名：Crysvita）

- ・2月に米国において腫瘍切除不能または腫瘍の同定が困難な腫瘍性骨軟化症を適応症とした生物学的製剤承認一部変更申請が受理され、6月に成人及び2歳以上の小児を対象とした腫瘍切除不能または腫瘍の同定が困難な腫瘍性骨軟化症を適応症として承認されました。
- ◆9月に欧州において青少年・成人のX染色体連鎖性低リン血症を適応症として承認されました。
- ◆9月に韓国においてFGF23関連低リン血症性くる病及び骨軟化症を適応症として承認されました。

開発パイプライン一覧

 抗体
  たんぱく製剤
  低分子化合物
 開発番号の◎は新規成分
  2019年12月31日からの進捗
  2020年6月30日からの進捗












開発番号 一般名 剤型	作用機序等	対象疾患	開発地域	開発段階					[自社or導入] 備考
				第I相	第II相	第III相	申請	承認	
 KRN321 Darbepoetin Alfa 注射剤	持続型赤血球造血刺激因子製剤	腎性貧血（血液透析施行中）	中国						[Kirin-Amgen社]
 KHK7580 Evocalcet 経口剤	カルシウム受容体作動薬	二次性副甲状腺機能亢進症	中国 韓国 台湾 香港						[田辺三菱製薬(株)]
 ◎RTA 402 Bardoxolone Methyl 経口剤	Antioxidant Inflammation Modulator	糖尿病性腎臓病	日本						[Reata社]
 KW-3357 Antithrombin Gamma 注射剤	遺伝子組換えヒトアンチトロンピン	妊娠高血圧腎症	日本						[自社]
 KHK7791 Tenapanor 経口剤	NHE3阻害剤	維持透析下の高リン血症	日本						[Ardelyx社]

がんカテゴリ

開発番号 一般名 剤型	作用機序等	対象疾患	開発 地域	開発段階					[自社or導入] 備考
				第I相	第II相	第III相	申請	承認	
 KW-0761 Mogamulizumab 注射剤	ヒト化抗CCR4抗体	固状肉腫およびセザリ-症候群	スイス サウジアラビア						[自社] ポテリジェント抗体
			豪州						
 ◎KHK2375 Entinostat 経口剤	ヒストン脱アセチル化酵素阻 害剤	乳がん	日本						[Syndax社]
 KRN125 Pegfilgrastim 注射剤	持続型顆粒球コロニー形成 刺激因子	造血幹細胞の末梢血中への動員	日本						[Kirin-Amgen社]
		がん化学療法による発熱性好中球 減少症の発症抑制を適応症とした 自動投与デバイス	日本						
 ◎KHK2455 経口剤	IDO1阻害剤	固形がん	米国						[自社] KW-0761との併用
		膀胱がん	米国						[自社] Avelumabとの併用
 ◎ME-401 Zandelisib 経口剤	PI3K阻害剤	B細胞悪性腫瘍	日本						[MEI Pharma社]
			米国						
		濾胞性リンパ腫	米国 欧州 豪州 韓国 その他						

(注) KW-0761は成人T細胞白血病リンパ腫を対象とした開発を中止したため、該当する開発情報を本表から削除しました。

免疫・アレルギーカテゴリ

開発番号 一般名 剤型	作用機序等	対象疾患	開発 地域	開発段階					[自社or導入] 備考
				第I相	第II相	第III相	申請	承認	
 KHK4827 Brodalumab 注射剤	ヒト型抗IL-17受容体A抗体	乾癬	マカオ						[Kirin-Amgen社]
			中国						
			マレーシア						
		体軸性脊椎関節炎	日本						
				全身性強皮症					
掌蹠膿疱症									
 ◎KHK4083 注射剤	ヒト型抗OX40抗体	アトピー性皮膚炎	日本 北米 欧州						[自社] ポテリジェント抗体 ヒト抗体産生技術を使用
 ◎ASKP1240 Bleselumab 注射剤	ヒト型抗CD40抗体	腎移植患者における再発性巣状糸 球体硬化症	米国						[自社] ヒト抗体産生技術を使用 アステラス製薬(株)と共同開発

中枢神経カテゴリ

開発番号 一般名 剤型	作用機序等	対象疾患	開発 地域	開発段階					[自社or導入] 備考
				第I相	第II相	第III相	申請	承認	
 KW-6002 Istradefylline 経口剤	アデノシンA2A受容体拮抗剤	パーキンソン病	欧州						[自社]
 KW-0761 Mogamulizumab 注射剤	ヒト化抗CCR4抗体	HTLV-1関連脊髄症	日本						[自社] ポテリジェント抗体
 ◎KW-6356 経口剤	アデノシンA2A受容体拮抗剤	パーキンソン病	日本						[自社]
 ◎KHK6640 注射剤	抗アミロイドβペプチド抗体	アルツハイマー型認知症	日本 欧州						[イムナス・ファーマ(株)]



その他カテゴリー

開発番号 一般名 剤型	作用機序等	対象疾患	開発 地域	開発段階					[自社or導入] 備考
				第I相	第II相	第III相	申請	承認	
 KRN23 Burosumab 注射剤	ヒト型抗FGF23抗体	X染色体連鎖性低リン血症	台湾 クウェート	→	→	→	→	→	[自社] ヒト抗体産生技術を使用 欧米においてUltragenyx社と共同 開発
			カタール	→	→	→	→	→	
			オマーン	→	→	→	→	→	
			スイス・香港	→	→	→	→	→	
			豪州	→	→	→	→	→	
			バーレーン	→	→	→	→	→	
			中国 サウジアラビア シンガポール	→	→	→	→	→	
		X染色体連鎖性低リン血症（成人）	欧州	→	→	→	→	→	
		FGF23関連低リン血症性くる病・骨軟化症	韓国	→	→	→	→	→	
		腫瘍性骨軟化症	米国	→	→	→	→	→	
 AMG531 Romiplostim 注射剤	トロンボエチン受容体作動薬	既存治療で効果不十分な再生不良性貧血	台湾	→	→	→	→	[Kirin-Amgen社]	
			韓国	→	→	→	第II/ 第III相		
		慢性特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病	中国	→	→	→	→		
		免疫抑制療法未治療の再生不良性貧血	日本 韓国 台湾	→	→	→	第II/ 第III相		
 KW-3357 Antithrombin Gamma 注射剤	遺伝子組換えヒトアンチトロンビン	先天性アンチトロンピン欠乏に基づく血栓形成傾向、アンチトロンピン低下を伴う播種性血管内凝固症候群	欧州	→					[自社]

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月30日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)	前連結会計年度 (2019年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	75,778	74,216
のれん	131,777	133,554
無形資産	71,101	60,106
持分法で会計処理されている投資	14,423	13,526
その他の金融資産	18,463	19,511
退職給付に係る資産	11,876	12,299
繰延税金資産	29,750	22,110
その他の非流動資産	339	520
非流動資産合計	353,507	335,843
流動資産		
棚卸資産	51,700	47,123
営業債権及びその他の債権	84,021	89,015
親会社に対する貸付金	—	285,700
その他の金融資産	631	389
その他の流動資産	6,301	5,621
現金及び現金同等物	285,000	20,762
流動資産合計	427,653	448,610
資産合計	781,160	784,453

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)	前連結会計年度 (2019年12月31日)
資本		
資本金	26,745	26,745
資本剰余金	463,945	463,893
自己株式	(3,578)	(3,792)
利益剰余金	215,038	201,253
その他の資本の構成要素	(16,980)	(9,849)
親会社の所有者に帰属する持分合計	685,171	678,250
資本合計	685,171	678,250
負債		
非流動負債		
退職給付に係る負債	421	276
引当金	5,046	1,648
繰延税金負債	93	42
その他の金融負債	15,624	15,444
その他の非流動負債	1,185	1,263
非流動負債合計	22,369	18,673
流動負債		
営業債務及びその他の債務	48,462	53,877
引当金	1,874	2,019
その他の金融負債	4,049	3,109
未払法人所得税	4,127	15,214
その他の流動負債	15,108	13,312
流動負債合計	73,620	87,530
負債合計	95,989	106,204
資本及び負債合計	781,160	784,453

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
<b>継続事業</b>		
売上収益	234,004	225,457
売上原価	(58,639)	(57,087)
売上総利益	175,365	168,370
販売費及び一般管理費	(88,141)	(83,888)
研究開発費	(37,025)	(37,862)
持分法による投資損益	494	(868)
その他の収益	986	315
その他の費用	(8,697)	(12,342)
金融収益	1,405	721
金融費用	(205)	(996)
税引前四半期利益	44,183	33,450
法人所得税費用	(6,694)	(6,542)
継続事業からの四半期利益	37,489	26,908
<b>非継続事業</b>		
非継続事業からの四半期利益	—	29,410
四半期利益	37,489	56,318
<b>四半期利益の帰属</b>		
親会社の所有者	37,489	56,318
<b>1株当たり四半期利益</b>		
基本的1株当たり四半期利益(円)	69.80	104.48
継続事業	69.80	49.92
非継続事業	—	54.56
<b>希薄化後1株当たり四半期利益(円)</b>		
継続事業	69.75	104.39
非継続事業	—	54.51

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益	37,489	56,318
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	(735)	99
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	(73)	(42)
純損益に振替えられることのない項目合計	(808)	57
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	(6,165)	(1,859)
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	(87)	(56)
純損益に振替えられる可能性のある項目合計	(6,251)	(1,915)
その他の包括利益	(7,059)	(1,857)
四半期包括利益	30,429	54,461
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	30,429	54,461

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2020年1月1日残高	26,745	463,893	(3,792)	201,253	751	(13,647)
四半期利益	—	—	—	37,489	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	(6,251)
四半期包括利益合計	—	—	—	37,489	—	(6,251)
剰余金の配当	—	—	—	(23,631)	—	—
自己株式の取得	—	—	(9)	—	—	—
自己株式の処分	—	16	163	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	36	60	—	(144)	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	(73)	—	—
所有者との取引額合計	—	53	215	(23,703)	(144)	—
2020年9月30日残高	26,745	463,945	(3,578)	215,038	607	(19,898)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	その他の資本の構成要素			合計	合計	
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2020年1月1日残高	3,047	—	(9,849)	678,250	678,250	
四半期利益	—	—	—	37,489	37,489	
その他の包括利益	(735)	(73)	(7,059)	(7,059)	(7,059)	
四半期包括利益合計	(735)	(73)	(7,059)	30,429	30,429	
剰余金の配当	—	—	—	(23,631)	(23,631)	
自己株式の取得	—	—	—	(9)	(9)	
自己株式の処分	—	—	—	179	179	
株式に基づく報酬取引	—	—	(144)	(48)	(48)	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	73	73	—	—	
所有者との取引額合計	—	73	(72)	(23,508)	(23,508)	
2020年9月30日残高	2,312	—	(16,980)	685,171	685,171	

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額
2019年1月1日残高	26,745	509,161	(26,705)	151,760	787	(16,402)
会計方針の変更	—	—	—	(454)	—	—
修正再表示後の残高	26,745	509,161	(26,705)	151,306	787	(16,402)
四半期利益	—	—	—	56,318	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	(1,915)
四半期包括利益合計	—	—	—	56,318	—	(1,915)
剰余金の配当	—	—	—	(21,688)	—	—
自己株式の取得	—	—	(22,597)	—	—	—
自己株式の処分	—	(17)	263	—	—	—
自己株式の消却	—	(45,251)	45,251	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	—	—	—	(86)	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	134	—	—
所有者との取引額合計	—	(45,269)	22,917	(21,553)	(86)	—
2019年9月30日残高	26,745	463,893	(3,788)	186,070	700	(18,316)

	親会社の所有者に帰属する持分					資本合計
	その他の資本の構成要素				合計	
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計	合計		
2019年1月1日残高	4,275	—	(11,341)	649,621	649,621	
会計方針の変更	—	—	—	(454)	(454)	
修正再表示後の残高	4,275	—	(11,341)	649,166	649,166	
四半期利益	—	—	—	56,318	56,318	
その他の包括利益	99	(42)	(1,857)	(1,857)	(1,857)	
四半期包括利益合計	99	(42)	(1,857)	54,461	54,461	
剰余金の配当	—	—	—	(21,688)	(21,688)	
自己株式の取得	—	—	—	(22,597)	(22,597)	
自己株式の処分	—	—	—	246	246	
自己株式の消却	—	—	—	—	—	
株式に基づく報酬取引	—	—	(86)	(86)	(86)	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	(176)	42	(134)	—	—	
所有者との取引額合計	(176)	42	(221)	(44,126)	(44,126)	
2019年9月30日残高	4,198	—	(13,418)	659,501	659,501	

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
継続事業からの税引前四半期利益	44,183	33,450
減価償却費及び償却費	13,768	14,516
減損損失	2,679	6,067
引当金の増減額(減少)	3,283	(26)
持分法による投資損益(益)	(494)	868
棚卸資産の増減額(増加)	(6,529)	(6,531)
営業債権の増減額(増加)	2,882	2,716
営業債務の増減額(減少)	250	1,604
法人所得税の支払額	(26,559)	(21,817)
その他	(1,601)	1,453
非継続事業からの営業活動キャッシュ・フロー	—	6,297
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,861	38,598
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	(7,827)	(5,869)
無形資産の取得による支出	(19,728)	(13,218)
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	(500)	(1,000)
貸付金の回収による収入	—	24,288
親会社に対する貸付金の純増減額(増加)	285,700	(102,100)
その他	1,030	(1,171)
非継続事業からの投資活動キャッシュ・フロー	—	103,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	258,676	4,131
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	(2,372)	(2,284)
自己株式の取得による支出	(9)	(22,597)
配当金の支払額	(23,631)	(21,688)
その他	97	(8)
非継続事業からの財務活動キャッシュ・フロー	—	(19)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(25,914)	(46,596)
現金及び現金同等物に係る換算差額	(386)	56
現金及び現金同等物の増減額(減少)	264,237	(3,812)
現金及び現金同等物の期首残高	20,762	15,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	285,000	12,055



(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前連結会計年度において「バイオケミカル事業」を非継続に分類しており、当社グループは「医薬事業」の単一セグメントとなったため、報告セグメント別の記載は省略しております。